

1 令和5年度公益財団法人高知県文化財団事業報告

高知県から、美術館、歴史民俗資料館、坂本龍馬記念館、文学館、埋蔵文化財センターの管理運営に関する指定管理者制度に基づく指定を受け、県民サービスの向上と経営の効率化の視点に立った運営に努めた。また、芸術文化活動の振興に資する様々な事業や埋蔵文化財の発掘調査事業などを実施した。

(1) 総務部

ア 文化振興事業

(ア) アーツカウンシルを核とした地域での芸術文化事業の創出等

「文化芸術の力で心豊かに暮らせる高知県」の実現に向け、文化芸術振興組織（アーツカウンシル）を中心に県民の文化芸術活動を支援する文化振興事業を行った。

a 人材育成事業

(基礎編)

開催日	内容	講師等	参加者数
R5. 7. 29 (土)	第1回「KUROSA&KUSAKA高知のまんが文化を語りつくす！」	黒笹慈幾氏（南国生活技術研究所代表） くさか里樹氏（漫画家）	26人
R5. 9. 9 (土)	第2回「シン・いざなぎ流～今、そしてこれから～」	梅野光興氏（高知県立歴史民俗資料館チーフ（学芸担当）） 安丸瑤氏（物部いざなぎ流神楽保存会教室長）	86人
R5. 10. 15 (日)	第3回「続・城による地域振興」	松田直則氏（高知県立歴史民俗資料館副館長） 澤原清之氏（連続テレビ小説を生かした博覧会推進協議会事務局（高知県観光政策課内）観光プロモーションコーディネーター）	30人
R5. 11. 19 (日)	第4回「フォトグラファー3者鼎談～ローカルからグローバルへ～」	角田 和夫氏、木戸 孝子氏、吉岡さとの氏（写真家）	27人
R5. 12. 24 (日)	第5回「ロギールさんに聞く『土佐和紙が紡ぐ地域活性化の道』」	ロギール・アウテンボーガルト氏（手漉き和紙作家）	34人
R6. 1. 13 (土)	第6回「クリエイター・文化芸術関係者のための著作権講座」	城田 晴栄氏（（株）ループホール代表取締役・弁理士）	30人
R6. 2. 10 (土)	第7回「土佐の「食・酒・人・宴」のイノベーションと未来の創造」	竹村 昭彦氏（司牡丹酒造（株）代表取締役社長） 濱口 実佐子氏（料亭濱長女将）	48人
R6. 2. 17 (土)	第8回「映画を通じて何ができるか～映画を地域に！地域を元気に！」	田邊 高英氏（（株）シネマ四国 代表取締役） 浜口 眞吾氏（高知県立美術館 企画事業課課長補佐）	29人
計			310人

※1 開催方法：対面、Zoomオンライン ※2 後日アーカイブ配信（視聴者総数1,004回）

(実践編)

開催日	内容	講師等	参加者数
R6. 1. 27 (土)	「アニメーションってすごいんだよ @とおわ」	田邊 高英氏 ((株) シネマ四国 代表取締役)	65人

b 発表の場の拡充

多くの人が集まる場での文化芸術団体、個人に文化芸術活動の成果を発表する機会を提供した。

開催日	内容/場所	講師等	参加者数
R5. 10. 8 (日)	第1回土佐の伝統芸能まつり (城博北ステージ)	二代目 杵屋 彌之吉、令和の風、吾北清流太鼓一番風	200人
R5. 11. 11 (土)	図書館で落語を楽しむ (香美市立図書館)	楓家 葉っぱ (アマチュア落語家)	50人
R5. 11. 12 (日)	甬喜ヶ峰フェスティバル 2023 (甬喜ヶ峰森林公園)	羽屋戸 橋道、たいがー・リー 坂野志麻、 サンドイッチパーラー	135人
		計	385人

c 情報発信事業

アーツカウンシル高知ホームページにある高知の表現者の情報をデータベース化した「芸事図鑑」に7件(団体・個人)を登録した。

d 文化芸術事業に関する相談事業

文化芸術に関する相談を、電話やメール・面談により8件行った。

(イ) 情報誌の発行、広報活動

a 「(公財) 高知県文化財団ミュージアム・イベントガイド」の発行・配布

高知県文化財団が指定管理者として管理運営を委託されている5施設及び文化財団総務部が行うイベントをまとめたリーフレットを作成、配布した。

b 「高知県文化財団ミュージアムスタンプラリー」の発行・配布

高知県文化財団が指定管理者として管理運営を委託されている5つの施設が夏休みに行うプログラムを子供向けにまとめた印刷物を作成し、県内全小学校の児童等に配布した。施設のスタンプラリーも実施し、集めたスタンプ数に対して、年間ミュージアムパスポートや各施設のオリジナルグッズ等を進呈した。

(ウ) 子どもを対象としたアウトリーチ事業

幼少時から芸術文化に親しむ機会を提供することと、各施設の広報宣伝を目的に、イオンモール高知を会場にしたワークショップ(「Bunkazaidan子どもクラブ」)を開催した。

開催日	内容	講師等	参加者数 (延べ)
R5. 4. 22 (土)	春の桜ブローチを作ろう	あきやまひろみ(クレイ作家)	73人
R5. 6. 18 (日)	造形ラーメンを作ろう	造形教室(井関さおり)	60人
R5. 8. 9 (水)	ダンボールで昆虫標本を作ろう	(株) タケナカダンボール	64人
R5. 12. 17 (日)	クリスマスのグラデーションキャンドルを作ろう	藤岡さわ(キャンドルアーティスト)	30人

R6. 2. 3 (土)	シャカシャカキーホルダーを作ろう	なかひらじゅんこ (イラストレーター)	86人
R6. 2.14 (水)	バレンタインミニコンサート	サンドイッチパーラー	-
※バレンタインミニコンサートはコンサート形式のため集計していない。			計 313人

イ 高知県芸術祭開催事業

県民の文化芸術に接する機会を増やし、県民自ら参加する文化芸術活動を促進することで、文化の息づく郷土づくりを進めるため、第73回高知県芸術祭を開催した。プレイベントとして「土佐女子中学高等学校書道部パフォーマンス」を、オープニングイベントとして県内アーティストによるパフォーマンスを、また、メインイベントとして「国際音楽交歓コンサート2023」を実施した。

その他、《地域×アート》をコンセプトに高知県内で開催される文化芸術活動を助成する「KOCHI ART PROJECTS (KAP)」、「第52回高知県芸術祭文芸賞」等の事業を実施した。

芸術祭開催期間：R5. 9. 16(土)～12. 17 (日)

(ア) 芸術祭参加事業数 [() 内は前年度数]

行事区分	事業数
助成事業 (KAP)	13 (14)
主催事業	4 (5)
共催行事	16 (21)
協賛行事	49 (44)
計	82 (84)

(イ) 参加者数 [() 内は前年度数]

行事区分	参加者数
助成事業 (KAP)	3,084人 (7,404人)
主催事業	2,003人 (1,685人)
共催行事	66,085人 (83,346人)
協賛行事	62,351人 (47,481人)
計	133,523人 (139,916人)

(ウ) KOCHI ART PROJECTS (KAP) 助成事業

団体名	事業名	実施期日	助成額 (千円)
キョウエンのま	キョウエンのま	R5. 10. 6 (金) ～ 11. 5 (日)	100
スロヴァキア国立オペラ 高知実行委員会	スロヴァキア国立オペラ高知公演	R5. 10. 9 (月)	300
合同会社 風	土佐町の絵本「ろいろい」原画展	R5. 10. 11 (水) ～ 10. 18 (水)	300
HATHA TUMURI	KINMOKUSEI MUSIC FESTIVAL	R5. 10. 21 (土)	300
土佐山田・あーとリンク 実行委員会	土佐山田・あーとリンク vol.3	R5. 10. 28 (土) ～ 11. 5 (日)	300

特定非営利活動法人 地域文化計画	限界集落コツモ・アート・プロジェクト2023	R5. 11. 18 (土) 11. 19 (日)	300
一般社団法人清水サーバ	いきるアート展	R5. 11. 18 (土) ～ 12. 16 (土)	270
Ukulele good meeting 実 行委員会	Ukulele good meeting 2023	R5. 11. 19 (日)	100
なかむら音楽振興会	ふるさと四万十オペラコンサート	R5. 11. 24 (金)	300
空族映画を高知で上映す る会	富田克也×相澤虎之助 映像制作集団空族 作品最新作「典座-TENZO-」上映会+トー クショー	R5. 11. 24 (金) ～ 11. 26 (日)	300
Art nest YOMO	Art in Kochi Documentation～高知のオルタ ナティブアートの変遷とアート共同体の再 構築2000-2023～	R5. 12. 7 (木) ～ 12. 17 (日)	300
劇団coyote	劇団coyote高知演劇公演 竜の横顔	R5. 12. 9 (土) 12. 10 (日)	300
南十字星	高知の歌で生バンド歌謡ショー	R5. 12. 10 (日)	300
計		13件	3,470

(エ) 主催事業

- a プレイベント「土佐女子中学高等学校書道部パフォーマンス」
R5. 8. 27(日) 会場：高知市帯屋町一丁目商店街 入場者：204人
- b 第73回高知県芸術祭オープニングイベント
R5. 9. 17(日) 会場：高知県立高知城歴史博物館・北ステージ 入場者：253人
R5. 9. 23(土・祝) 会場：高知県立のいち動物公園・入口ゲート前広場 入場者：247人
- c メインイベント「国際音楽交歓コンサート2023 高知公演」
R5. 10. 10(火) 会場：本山町プラチナセンター・文化ホール
R5. 10. 11(水) 会場：高知県立美術館ホール 入場者：604人

(オ) 文芸賞 [() 内は前年度数]

	応募総数	応募人数	文芸賞	奨励賞	佳作
短編小説	47 (28)	47 (28)	1	2	2
詩	55 (46)	55 (46)	1	5	5
短歌	470 (354)	210 (169)	1	5	5
俳句	717 (833)	228 (321)	1	5	10
川柳	561 (563)	155 (128)	1	5	10
計	1,850 (1,824)	695 (692)	5	22	32

ウ 文化事業に対する助成事業

(ア) 高知県文化財団文化事業助成金の交付

文化関係団体等の行う文化事業に対して助成金を交付し、県内文化の振興発展に努めた。

団体名	事業名	実施期日等	助成額 (千)
野市グリーン・コール	2023野市グリーン・コール創立40周年 記念公演 ありがとうの思いを込めて …歌うことは生きること 愛すること	R5. 5. 14(日)	200
川上さまが大好きな仲間たち	香北町川上さまで狂言を楽しもう！ Vol. 2	R5. 6. 11(日)	300
合同会社ショープロジェクト	舞台「薔薇を撫ぜる」	R5. 7. 1(土) ～ 7. 2(日)	200
グラント愛	HAIKU TIME2「あつまりや！今こそ俳句 をしようじゃないか」	R5. 9. 17(日)	300
しまんとアートカルチャー ギルド	しまんと芸術祭	R5. 9. 23(土) ～ 9. 25(月)	300
いしはらの里協議会	いしはら音楽祭	R5. 11. 4(土)	300
本川神楽保存会	本川神楽伝承500周年記念祭	R5. 11. 5(日)	300
	計	7件	1,900

(イ) 県内の文化団体が実施する事業の共催・後援による支援

県内で実施される芸術文化事業への名義後援を行った。

令和5年度後援事業：「第31回右城暮石頭彰吉野川全国俳句大会」他、4事業

(2) 美術館

企画展では、現代のレオナルド・ダ・ヴィンチとも称されるオランダ生まれのアーティスト、テオ・ヤンセンの作品を紹介する「テオ・ヤンセン展」、高知県三原村に生まれ、世界の過酷な風土を生き抜く人々の営みと信仰をテーマとして記録する日本を代表するドキュメンタリー写真家・野町和嘉の作品を紹介する「野町和嘉写真展 地平線の彼方から」、開館 30 周年を記念して高知県立美術館がこれまでに収集してきた主要な美術コレクションを全館展示する「開館 30 周年記念展 そして船は行く」を開催した。

また、開局 70 周年を迎える高知放送と開館 30 周年を迎える当館の記念事業として、令和 4 年 11 月 1 日に愛知県にオープンしたジブリパークを貴重なメイキング資料も含めて一挙紹介する「ジブリパークとジブリ展」を共同開催した。

常設展（コレクション展）では、当館の二大コレクションであるシャガール、石元泰博の作品について、日頃の調査研究をもとに魅力的なテーマを複数設定し、展示替えしながら紹介した。

また、その他の収蔵品の中から、令和 5 年度に県が行った「牧野博士の新休日」キャンペーンと連携して、花をテーマとした作品展示「ケンピでお花見」や「没後40年 中島敬朝」、郷土関係の現代作家に焦点を当てるシリーズ「アーティスト・フォーカス #04 甫木元 空 窓外」を開催した。

美術館ホールの自主事業としては、国内外を問わず、創造的で質の高い舞台芸術の招聘に取り組むとともに、日本芸能実演家団体協議会が受託した「文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業」に参画し、美術館のみならず県内各地で多彩な文化芸術活動を展開した。

教育普及活動としては、美術と美術館に親しみ、楽しんでもらうために、企画展等に関連したワークショップや講演会等のほか、特に、幼少期より芸術文化に親しむ機会を提供するため、子どもを対象とした教育普及活動を積極的に進めるとともに、地域や学校と積極的に連携する美術館として、館外において県民に親しまれる活動を充実して行った。

さらに、県内の美術愛好団体や個人、教育関係者など、県民の皆様が創作活動の成果を発表する場として利用されている県民ギャラリー等では、絵画をはじめ書道、工芸、写真などの多彩な展覧会を実施した。

ア 美術館利用状況

(ア) 展覧会等

展 覧 会		入館者	利用料金	備 考
主 催	常設展（コレクション展）	7,199 人	1,913 千円	(主催展の入館者内訳) 一 般 : 121,886 人 大 学 生 : 1,052 人 小中高生等 : 41,637 人 減免・招待者等 : 29,584 人
	企画展	35,065 人	18,253 千円	
	特別展	151,895 人	102,952 千円	
	美術館ホール等（舞台・映画等）	5,454 人	12,953 千円	
	計	199,613 人	136,071 千円	
貸 館	オールドパワー文化展	2,934 人	—	(ホール等の入場者内訳) 一 般 : 4,350 人 小中高大生 : 121 人 減免・招待者等 : 983 人
	スピリットアート展	3,382 人	—	
	県展	6,479 人	—	
	こども県展	12,549 人	—	
	計	25,344 人	—	
美術館ホール		27,681 人	11,001 千円	利用日数 : 250 日
県民ギャラリー・企画展示室		59,469 人	5,684 千円	利用日数 : 304 日
会議室・講義室・創作室		—	100 千円	件 数 : 4 件
写真撮影等		—	9 千円	件 数 : 19 件
合 計		312,107 人	152,865 千円	

(イ) その他の事業

事業名	利用者数
講演会、ワークショップ等（展覧会、舞台関連）	1,303人
高知サマープロジェクト	6,656人
スクールプログラム（土佐市事業を含む）	597人
アートキャラバン事業（はだかの王様公演他）	3,407人
共催事業（演劇祭、四万十川国際音楽祭等）	2,646人
計	14,609人

(ア)+(イ) 利用者数総計 326,716人

イ 外部資金（助成金、補助金、賞金）

交付団体	交付先事業	金額
公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 「統括団体による文化芸術需 要回復・地域活性化事業 (アートキャラバン2事業) 【地域連携型】	高知ライブエール・プロジェクト ①カンパニーデラシネラ「はだかの王様」公演 ②中村交響楽団指導＋アートマネジメントセミナー ③はだかのうた映画上映×甫木元空・前野健太ライブ ④Washi+Kaji／楮・人造自然 公演 ⑤高知あだたん映画祭 ⑥三原村野町和嘉写真展 ⑦きむらとしろうじんじん 焼立器飲茶美味窯付移動車・野点 ⑧The Connections ⑨爆音映画祭	25,948千円
公益社団法人 全国公立文化施設協会 「統括団体による文化芸術需 要回復・地域活性化事業 (アートキャラバン2) 『公文協アートキャラバン事 業 劇場へ行こう3』	①「MUSIC+DANCE PSAPPHA 公演」 ②「加藤訓子 パッサを弾く」コンサート及び関連企画	5,982千円
一般財団法人地域創造 地域の文化・芸術活動助成事業	国際共同製作 Q新作／劇作・演出 市原佐都子『弱法師』	4,448千円
独立行政法人 日本芸術文化振興会 「芸術文化振興基金助成金」 (国内映画祭等の活動)	冬の定期上映会 「原 一男監督特集」	600千円
合 計		36,978千円

ウ 展覧会開催事業

(ア) 常設展（コレクション展）

a シャガール・コレクション展(展示室A)

展 覧 会 名	会 期	日数	観覧者
第1回シャガール・コレクション展 「花」	R5. 4. 15(土)～6. 11(日)	58日	8,842人
第2回シャガール・コレクション展 「サーカス」	R5. 6. 13(火)～8. 13(日)	62日	6,369人
第3回シャガール・コレクション展 「テンペスト」	R5. 8. 15(火)～10. 22(日)	69日	4,479人
合 計		189日	19,690人

※ 観覧者数は企画展も含む

b 石元泰博コレクション展(石元泰博展示室)

展 覧 会 名	会 期	日数	観覧者
第1回石元泰博コレクション展 「HANA牧野富太郎記念館の建築(前期)」	R5. 4. 15(土)～6. 18(日)	65日	7,305人
第2回石元泰博コレクション展 「HANA牧野富太郎記念館の建築(後期)」	R5. 6. 20(火)～8. 20(日)	62日	4,646人
第3回石元泰博コレクション展 「私の好きな写真家 石元泰博」	R5. 8. 22(火)～10. 22(日)	62日	3,407人
第4回石元泰博コレクション展 「フォトセンターの10年 1期」	R5. 11. 3(金・祝)～12. 3(日)	31日	3,865人
第5回石元泰博コレクション展 「フォトセンターの10年 2期」	R5. 12. 23(土)～R6. 2. 12(月)	46日	948人
第6回石元泰博コレクション展 「フォトセンターの10年 3期」	R6. 2. 14(水)～3. 31(日)	47日	1,038人
合 計		313日	21,209人

※ 観覧者数は企画展も含む

c コレクション・テーマ展(展示室D)

展 覧 会 名	会 期	日数	観覧者
ケンビでお花見	R5. 3. 25(土)～5. 24(水)	61日	4,124人
没後40年 中島 敬朝	R5. 5. 27(土)～7. 23(日)	58日	4,279人
アーティスト・フォーカス#04「甫木元 空 窓外」	R5. 12. 16(土)～R6. 2. 18(日)	59日	1,647人
合 計		178日	10,050人

※ 観覧者数は企画展も含む

(イ) 企画展

展 覧 会 名	会 期	日数	観覧者
テオ・ヤンセン展	R5. 4. 15(土)～6. 25(日)	72日	18,507人
野町和嘉写真展 地平線の彼方から	R5. 7. 8(土)～9. 24(日)	79日	10,790人
開館30周年記念展 そして船は行く	R5. 11. 3(金・祝)～12. 3(日)	31日	5,768人
ジブリパークとジブリ展	R5. 12. 23(土)～R6. 3. 31(日)	94日	151,895人
合 計		276日	186,960人

エ 教育普及事業

(ア) 展覧会開催関連企画

a 講演会、トーク等

展 覧 会 名	実施日・内容 等	参加者
野町和嘉写真展	作家解説によるギャラリーツアー R5. 7. 8 (土) 132人 野町和嘉トーク『『地平線の彼方から』を語る』 R5. 8. 5 (土) 237人 学芸員によるギャラリートーク R5. 7. 22 (土)、8. 11 (金・祝)、8. 13 (日) 9. 23 (土・祝)、9. 24 (日) 280人	649 人
開館30周年記念展 そして船は行く	一日まるごと学芸員による展示解説 R5. 11. 3 (金・祝)	211 人
参 加 者 合 計		860 人

b 展覧会関連イベント、ワークショップ

展 覧 会 名	実施日・内容 等	参加者
テオ・ヤンセン展	「ミニ・ストランドビーストを作ってみよう」 R5. 4. 15 (土)、4. 16 (日)	35 人
野町和嘉写真展	カメラマンになろう！ 牧野植物園で野町さんと写真体験 R5. 8. 6 (日) 31 人 日光写真で「かたち」を写しとってみよう R5. 8. 19 (土)、26 (土) 29 人	60 人
開館30周年記念展 そして船は行く	大木裕之監督作品上映 R5. 11. 4 (土) 322人 きむらとしろうじんじん 焼立器飲茶美味窯付移動車・野点 R5. 11. 5 (日) 650人	972 人
ジブリパークとジブリ展	ジブリアニメ上映会「コクリコ坂から」 R6. 1. 28 (日)	280 人
参 加 者 合 計		1,347 人

(イ) 高知サマープロジェクト等

イベント名	実施日・内容 等	入場者
サマープロジェクト2023 ひびのこづえのワードローブ展	R5. 7. 29 (土) ~9. 24 (日)	6,656 人

(ウ) 開館記念日イベント、お正月イベント

イベント名	実施日・内容 等	入場者
お正月イベント	R6. 1. 3 (水) 「岩原神楽・永渕神楽」※大豊町	625 人

(エ) 大学等からの博物館実習生等の受け入れ

大学名等	実施日	人数
多摩美術大学美術学部芸術学科（3年）	R5. 8. 9（水）～13（日） 5日間	1人
東北芸術工科大学芸術学部美術科（4年）		1人
受 入 計		2人

(オ) スクール・プログラム

a 出前びじゅつ講座、出前クラシック教室、出前演劇教室

受け入れ件数	実施日	参加者
出前びじゅつ講座 山田特別支援学校高等部1年生ほか 全7件	R5. 9. 13（水）ほか 全7日	180人
出前クラシック教室 梶原小学校1・2年生ほか 全7件	R5. 11. 17（金）ほか 全7日	315人
出前演劇教室 梶原小学校3・4年生ほか 全2件	R5. 11. 29（水）ほか 全2日	68人
参 加 者 合 計		563人

b 学校団体鑑賞等受け入れ

受け入れ件数	実施日	参加者
高知市立介良小学校6年生ほか 全36件	R5. 6. 22（木）ほか 全36日	1,816人

c 教員向け鑑賞講座（ティーチャーズ・ウィーク）

対 象 展 覧 会	実施日	参加者
テオ・ヤンセン展ほか 全3件	R5. 5. 21（日）～27（土）7日間ほか 全21日	34人

オ 石元泰博フォトセンター事業

(ア) 「深める」活動（保存管理、調査研究、収集）

館内ではプリント・フィルム等の内容確認及び整理作業を優先的に行い、その一方で公開用データベース構築のための作業も進めた。

館外では作品・文献調査等を行った。

(イ) 「広める」活動（展示公開、著作権管理）

石元泰博展示室を拠点にコレクションを年6回の展示替で常設公開した。著作権の適切な管理などを進め、コレクション情報の部分的なウェブ公開にも努めた。

(ウ) 「つなぐ」活動（教育普及）

土佐市スクール・プログラム事業として土佐市教育委員会と協同し、戸波中学校（1～3年生33名）の受け入れを行った。

カ 美術館ホール事業

(ア) 舞台公演等

公 演 名	開 催 日	入場者等
「リトル・デス・クラブ」公演	R5. 6. 24 (土)、25 (日)	1,234人
「Q/市原佐都子 新作 弱法師」公演	R5. 9. 9(土)、10 (日)	377人
グラビティ&アザーミス「バックボーン」公演	R5. 9. 30 (土)、10. 1 (日)	729人
出前クラシック教室 (再掲)	R5. 11月～12月	315人
神楽公演 「岩原神楽・永渕神楽」 (再掲)	R6. 1. 3 (水)	625人
出前演劇教室 (再掲)	R5. 11月	68人
入場者合計		3,348人

(イ) その他公演等 (文化庁統括団体によるアートキャラバン事業)

公 演 名	開 催 日	入場者等
カンパニーデラシネラ「はだかの王様」 田野町公演	R5. 5. 19 (金)	150人
カンパニーデラシネラ「はだかの王様」 佐川町公演	R5. 5. 21 (日)	91人
中村交響楽団指導+アートマネジメントセミナー	R5. 5. 28 (日)～R6. 1. 28 (日)	47人
はだかのうた映画上映×甫木元空・前野健太ライブ	R5. 7. 16 (日)	180人
Washi+Kaji/楮・人造自然 いの町公演	R5. 9. 11 (月)～13 (水)	169人
Washi+Kaji/楮・人造自然 香南市公演	R5. 9. 15 (金)、16 (土)	77人
高知あだたん映画祭 須崎市	R5. 10. 21 (土)～29 (日)	228人
三原村野町和嘉写真展	R5. 10. 25 (水)～11. 7 (火)	670人
大木裕之の90年代映画上映と対談 (再掲)	R5. 11. 4 (土)	322人
きむらとしろうじんじん 焼立器飲茶美味窯付移動車・野点 高知市 (再掲)	R5. 11. 5 (日)	650人
高知あだたん映画祭 安田町	R5. 11. 10 (金)	73人
高知あだたん映画祭 大月町	R5. 11. 18 (土)、19 (日)	141人
高知あだたん映画祭 高知市	R5. 11. 25 (土)、26 (日)	156人
きむらとしろうじんじん 焼立器飲茶美味窯付移動車・野点 土佐市	R5. 12. 10 (日)	280人
The Connections	R6. 1. 14 (日)	192人
爆音映画祭	R6. 1. 20 (土)、21 (日)	509人
PSAPPHA・加藤訓子 バッハを弾く	R6. 1. 27 (土)、28 (日)	303人
入場者合計		4,238人

(ウ) 定期上映会

事業名	開催日	入場者
春の定期上映会 「スキャンダラスな巨匠 ピエル・パオロ・パゾリーニ監督特集」	R5. 5. 26(金)～28(日)	508人
夏の定期上映会「奇想映画にようこそ」	R5. 8. 19(土)、20(日)	306人
秋の定期上映会「第2回高知あだたん映画祭」(再掲)	R5. 11. 25(土)、26(日)	156人
冬の定期上映会「原一男監督特集」	R6. 2. 10(土)～12(月・休)	420人
入場者合計		1,390人

(エ) 共催事業

事業名	開催日	入場者
演劇祭KOCHI 2023	R5. 4. 15 (土)～7. 23 (日)	1,812人
四万十川国際音楽祭 2023	R5. 6. 3 (土)～R6. 3. 29 (金)	648人
瀬戸内サーカスファクトリー 土佐和紙×現代サーカス フランス/イスラエル/日本 国際共同ラボ 『Matières マチエール』ワーク報告会	R5. 7. 24 (月)	60人
シネマの食堂2023	R5. 9. 15 (金)	110人
第5回 高知能楽堂まるごと見学会+能楽ミニ体験	R6. 1. 14 (日)	16人
入場者合計		2,646人

(オ) 舞台公演関連企画

事業名	開催日	参加者
市原佐都子/Q『新作』のための人形を使ったワークショップ	R5. 4. 14 (金)～16(日)	27人
Gravity & Other Myths 『BACKBONE』関連ワークショップ	R5. 9. 29 (金)	15人
PSAPPHA 関連企画Ⅰ 中村恩恵ダンスワークショップ	R6. 1. 22 (月)	17人
PSAPPHA 関連企画Ⅱ 出演者による公演直前トーク	R6. 1. 23 (火)	9人
入場者合計		68人

キ 文化芸術の海外拠点形成事業

当館は、長年にわたり国内外の優れた作品を紹介してきたことで日本の芸術発信拠点の一つとして認知されつつあることから、新たな文化創造と国際的な発信の拠点となる取り組みとして、国内外のアーティストを招聘し、長期滞在型創造プログラムを実施しているが、コロナの影響もあり休止している。

(3) 歴史民俗資料館

令和5年度は、設備改修等の工事（空調の更新、雨水配管の移設、展示ケースの改修）に伴い、令和5年9月19日から令和6年3月28日までの間、臨時休館とした。

このことにより、企画展は2回の開催となった。春は、NHK 連続テレビ小説「らんまん」の放送を記念して、企画展「まつりの花、いのちの木—デザインと道具—」を開催した。同展では、祭りの中の花の作り物や、植物を描いた陶磁器など、花や木に関する民俗・歴史美術資料を展示した。夏は、企画展「おもちゃの動物園」を開催し、郷土玩具収集家・山崎茂氏寄贈コレクションを中心に動物をモチーフとした館蔵の郷土玩具を展示することで、その魅力や地域性、多様性などを紹介した。クイズやスタンプラリー、フォトスポット、県内アーティストのコラボ展など、夏休みに親子で楽しんでいただける工夫を行った。

教育普及・調査研究関係では、企画展に関する民俗芸能公演や講演会、連続講座、ミュージアムトーク、ワクワクワークを開催した。また、調査研究成果を掲載した『高知県立歴史民俗資料館研究紀要』第28号を刊行した。

例年開催しているイベント等では、4月に「第13回岡豊山さくらまつり」、7、8月に「れきみん！サマーミュージアム」、11月に「第11回旧大栃高校民俗資料一般公開」と「第14回長宗我部フェス」を開催した。加えて、開館記念日である5月3日の「れきみんの日」は、例年どおり観覧無料にするとともに、展示に関するクイズや貴重資料の期間限定公開などを行った。

また、臨時休館中においても、岡豊山歴史公園を活用した様々なイベントを通じて、歴史公園への誘客や岡豊山の魅力の発信などに努めるとともに、館のHPの改修や館内のサインの見直しなどに取り組んだ。

ア 利用状況

(ア) 展覧会 ※催事別は、「イ 企画展等展示関係」に記載

展覧会	入場者(人)	料金(千円)	備考
通常展示	2,762	537	(入館者内訳)
企画展	6,950	1,505	・有料一般 : 4,523人(46.6%) ・小中高校生 : 1,265人(13.0%) ・長寿減免者等 : 3,924人(40.4%)
計	9,712	2,042	

(イ) 貸室等

貸室等	利用件数	料金(円)	備考
民家	12件(72人)	0	各種団体等
多目的ホール	10件(154人)	7,500	各種会合等

(ウ) 国史跡・岡豊城跡

催し等	来園者数	備考
岡豊城跡散策	13,084人	岡豊山歴史公園
岡豊山さくらまつり	2,000人	R5.4.2(日)
長宗我部フェス	470人	R5.11.18(土)
計	15,554人	

イ 企画展等展示関係

(ア) 企画展

企 画 展 名	期 間 (休館日を除く開館日数)	観覧者数
まつりの花、いのちの木 ーデザインと道具ー	R5. 4. 21 (金) ～6. 18 (日) 59 日間	3,008 人
おもちゃの動物園	R5. 7. 14 (金) ～9. 3 (日) 52 日間	3,942 人
合計 111 日間		6,950 人

(イ) 通常展

展 示 室 名	期 間	観覧者数
3 階総合展示室 2 階長宗我部展示室	R5. 4. 1 (土) ～R6. 3. 31 (日)	(企画展開催期間を除く) 62 日間 2,762 人

*臨時休館日：R5. 7. 3 (館内の清掃)、R5. 9. 19～R6. 3. 28 (設備改修工事)

(ウ) コーナー展

【3 階総合展示室】

コーナー展名	期 間 (休館日を除く開館日数)	観覧者数
牧野富太郎をとりまく人々 前期展 牧野富太郎と寺石正路	R5. 4. 1 (土) ～ 6. 15 (木) 76 日間	4,069 人
牧野富太郎をとりまく人々 後期展 牧野富太郎と堀見家	R5. 6. 17 (土) ～9. 18 (月・祝) 93 日間	5,129 人

【2 階エントランスホール】

コーナー展名	期 間 (休館日を除く開館日数)	観覧者数
前田博史の天然写真展 2023 「還るところ。」	(R5. 3. 21 (火・祝) ～3. 31 (金) 11 日間) R5. 4. 1 (土) ～4. 9 (日) 9 日間	(876 人) 479 人

(エ) フリースペース・ミニギャラリー展示 (県民参加型展示企画)

利用目的	展示期間・日数	場 所
第 18 回岡豊山フォトコンテスト 作品展示	R6. 3. 29 (金) ～3. 31 (日) 3 日間 (R6. 4. 1 (月) ～5. 26 (日) 56 日間)	1 階 フリースペース

ウ 教育普及関係

(ア) 講演会・講座・公演

演 題	講 師	実 施 日	聴講者数
民俗芸能公演 「須崎市大谷の花取り踊り」	須賀神社花取り踊り保存会 会長 西村 光博氏	R5. 5. 3 (水・祝)	82 人
連続講座「花と木の民俗世界」 まつりの花	当館学芸課チーフ 梅野 光興	R5. 5. 5 (金・祝)	22 人
連続講座「花と木の民俗世界」 死者と花	当館学芸課チーフ 梅野 光興	R5. 5. 20 (土)	19 人 オンライン 3 人
講演会 「花と風流」	高知県立大学 名誉教授 佐藤 恵里氏	R5. 6. 4 (日)	47 人 オンライン 4 人

連続講座「花と木の民俗世界」 いのちの木	当館学芸課チーフ 梅野 光興	R5. 6. 18 (日)	37人 オンライン7人
講演会 「動物の郷土玩具 ー生息地とご利益ー」	日本郷土玩具の会 会長 中村 浩訳氏	R5. 8. 20 (日)	25人
合計 6回			232人 オンライン14人

※オンライン聴講者数は外数

(イ) ミュージアムトーク

ト ー ク 名	当館担当者	実施日	参加者数
まつりの花、いのちの木 ーデザインと道具ー	梅野 光興 曾我 満子	R5. 4. 29 (土・祝) R5. 5. 3 (水・祝) R5. 6. 17 (土)	66人
コーナー展 牧野富太郎と寺石正路	青井 恵理香	R5. 5. 3 (水・祝)	9人
おもちゃの動物園	中村 淳子	R5. 7. 22 (土) R5. 8. 5 (土) R5. 8. 13 (日)	30人
合計 7回			105人

(ウ) ワクワクワーク (展覧会関連のみ記載)

タイトル名	講師	実施日	参加者数
企画展関連 「広葉樹の豆皿&クロモジ楊枝をつくらう！」	工房刻屋 植村 和暢氏	R5. 5. 14 (日)	19人
企画展関連 「草木染であずま袋に模様をつけよう！」	西峯 久美氏	R5. 5. 21 (日)	8人
企画展関連 「銅板へラ押しレリーフ・花のデザイン」	当館職員	R5. 6. 11 (日)	9人
企画展関連 「土佐和紙漆喰張り子 辰の絵付け」	草流舎 田村 多美氏 ほか	R5. 7. 22 (土) 7. 23 (日)	50人
企画展関連 「郷土玩具の動物はんこをつくらう！」	asakozirusi 尾崎 浅子氏	R5. 8. 6 (日)	15人
合計 6回			101人

エ 学校教育等関係

(ア) 学校等の来館対応

来館・来園した 学校等の数	主な内容	児童生徒数
4校	自由見学、通史解説、長宗我部展示室解説、ポイント解説 クイズ、ビデオ視聴、岡豊城跡案内	226人

(イ) 旧大栃高校民俗資料見学への対応

実施日	学校等名	主な内容	児童生徒数
R5. 11. 28 (火)	香美市立大宮小学校	昔のくらしの道具 (民具見学)	3年生 18人

(ウ) 出張体験学習・出前授業

実施日	学校等名	主な内容	児童生徒数
R5. 6. 6 (火)	高知市立高須小学校	火おこし体験、土器の観察	100人
R5. 8. 4 (金)	高知市立神田小学校 放課後児童クラブ	昔あそび体験 (玩具お絵かき、赤べこ作り、 コマ回し、竹とんぼ飛ばし)	121人
R5. 8. 15 (火)	高知市立江ノ口小学校 ① 第一放課後児童クラブ ② 第二放課後児童クラブ	土佐の歴史上の人物を学ぶ	30人
R5. 11. 14 (火)	南国市立岡豊小学校	地元の歴史を学ぶ 戦国武将長宗我部氏について	31人
R5. 12. 26 (火)	南国市立大篠小学校 ひまわり第3学童クラブ	昔あそび体験 (福笑い、コマ回し、ミニ門松作り)	30人
R6. 1. 5 (金)	香美市立楠目小学校 ① 第一児童クラブ ② 第二児童クラブ	勾玉作り体験	65人
計	合計 6校等		377人

(エ) 職場体験の受け入れ

学校名・学年	期 間	人 数
南国市立北陵中学校 3年生	R5. 4. 25 (火) ～4. 27 (木) (3日間)	2人

(オ) 博物館実習の受け入れ

大 学 名 等	期 間	人 数
淑徳大学 人文学部歴史学科 4年生	R5. 8. 20 (日) ～8. 27 (日) (7日間) ※8. 24 (木) 休み	1人
高知大学 人文社会科学部人文社会科学科 4年生		2人

オ 旧大栃高校活用・物部関連事業

事業名	内容	実施日	参加者数
第11回 旧大栃高校民俗資料一般公開 むかしの道具とものべの文化	収蔵民具の公開、 物産販売など	R5. 11. 11 (土) 11. 12 (日)	152人

カ 地域との連携イベント

イベント名等	主催者等	実施日	人数
第13回 岡豊山さくらまつり	岡豊山さくらまつり 実行委員会	R5. 4. 2 (日)	2,000人
第14回 長宗我部フェス	長宗我部フェス 実行委員会	R5. 11. 18 (土)	470人
土佐のまほろばウォーク 2023 －「長宗我部氏と国史跡・ 岡豊城跡」－	土佐のまほろば地区 振興協議会 当館	R5. 4. 25 (火)	16人
		R5. 5. 18 (木)	18人
		R5. 10. 11 (水)	12人
		R5. 11. 23 (木・祝)	16人
		R5. 12. 8 (金)	14人
		特別編 R6. 1. 21 (日)	7人
		R6. 3. 20 (水・祝)	12人

キ その他普及事業

事業名	内容	実施日	人数
れきみんの日 ※無料開館	れきみんクイズの陣 須崎市大谷の花取り踊り ミュージアムトーク ワークショップ 特別展示 など	R5. 5. 3 (水・祝)	477人
れきみん！ サマーミュージアム 2023	クイズに挑戦、五色百人一首 ポップアップカードを作ろう うちわ作り ワクワお絵かきワグダーランド まんまる動物作り など	R5. 7. 27 (木)	302人
		R5. 8. 13 (日)	312人
		R5. 8. 26 (土)	227人
合 計			1,318人

ク 臨時休館中の取り組み

設備改修等の工事に伴う臨時休館中（令和5年9月19日～令和6年3月28日）においても、岡豊山歴史公園や公園内にある山村民家は開園中であることを広報するとともに、公園を活用した様々なイベントを実施することにより、公園への誘客や岡豊山の魅力の発信などに努めた。

また、家紋Tシャツやご城印バインダーなど館のオリジナルグッズを山村民家（令和5年10月19日以降は館の休息室）で販売し、休館中においても販売収入の確保に努めた。

併せて、館のHPの改修や、館内のサインの見直し、収蔵資料のデータベース化への対応などにも取り組んだ。

○臨時休館中に開催した主なイベント（再掲等）

イベント名等	内 容	実 施 日	人 数
土佐のまほろばウォーク 2023	長宗我部氏に関する史跡や 岡豊城跡の見どころを紹介	R5. 10. 11（水） R5. 11. 23（木・祝） R5. 12. 8（金） 特別編 R6. 1. 21（日） R6. 3. 20（水・祝）	12 人 16 人 14 人 7 人 12 人
第 18 回 岡豊山フォトコンテスト	岡豊山で撮影、岡豊山を撮影し た写真を募集し、作品を展示	募集期間 R5. 7. 2（日）～11. 19（日） 作品展示期間 R6. 3. 29（金）～5. 26（日）	応募人数 52 人 (62 作品)
岡豊山スタンプラリー らんまんバージョン	岡豊山公園内にある 7 か所 のスタンプを押印（記念品あ り）	R5. 9. 19（火）～ R6. 3. 28（木） (183 日間)	1,699 人
松田副館長と歩く 岡豊城跡探訪	岡豊城跡を歩きながら、山 城の仕組みをマニアックに解 説	R5. 10. 27（金） R5. 11. 13（月） R5. 12. 10（日） R6. 1. 28（日）	1 人 11 人 5 人 19 人
いろりの火焚き (山村民家)	定期的にいろりに火を入 れ、火打石での火おこしや薪 割を実演	R5. 12. 16（土） R6. 1. 20（土） R6. 2. 17（土） R6. 3. 16（土）	7 人 5 人 3 人 4 人

(4) 坂本龍馬記念館

ア 総括

- ① 本館と新館の2館体制を活用して、調査研究・企画展示・教育普及の3つの事業活動を主体に展開し、歴史文化施設としての役割を担った。
- ② 企画展示事業のうち、特別展「花と歴史の爛漫土佐」展では、連続テレビ小説「らんまん」や桂浜公園リニューアルオープンと連動した企画展示と関連イベントを行った。また、同特別展では5年連続となる国指定の重要文化財（以下「重文」という。）を含む展示を行い、公開承認施設認定に向けての実績を収めた。

4つの企画展では、それぞれ展示テーマや県内外の関係機関とのネットワークを生かした有意義な調査研究と企画展示を行うとともに、小冊子や図録の発行、担当学芸員の展示解説や企画展の記念講演会（全5回）のほか、湿板写真の特別展示や常設展示室の更新の追加的な実施などにより、来館者の増加と満足度の向上につながったと考えている。

- ③ 調査研究事業では、坂本龍馬直筆の複製制作や寄託・寄贈の受け入れによる資料の充実を行うとともに、それぞれの申し出のある資料調査を継続して実施した。
- ④ 教育普及事業では、○「さまざまな立場からみる幕末の京都」をテーマに県内外の研究者による幕末・京都の政情などを理解していただく連続講演会（全5回）の開催、○小学生を対象とした「出前授業」や「夏休み・りょうま工作教室」の実施、○修学旅行をはじめ校外学習の場として当館を利用された学校への解説の実施など、大人から子どもまで幅広く龍馬の生涯や幕末の歴史を学んでいただく事業を実施した。○県内外の文化講座等への学芸員の派遣のほか、「出前授業」では初めて来館日前にWEBを活用した事前の遠隔学習を実施した。○県内の小・中・高向けに企画展や関連イベントの周知にも取り組んだ。

また、年間を通じて切れ目なく当館への誘客を促進するため、桂浜公園内の事業者とも連携しながら企画展と連動したシズナルイベントを開催し、公園全体への誘客にも取り組んだ。

- ⑤ 誘致広報の面では、関西・中四国圏を中心に県内外の新聞・TV等のメディアを活用した取材の受け入れを含む情報発信の取り組みを展開した。デジタル技術を活用したPR方策としては講演会のWEB配信、スマホ用ホームページの充実、YouTubeを活用した企画展の担当学芸員の展示解説の配信、フェイスブックやインスタグラムなどSNSを活用した企画展やイベント情報の提供活動を行った。

イ 利用状況

展覧会	入館者（人）	観覧料収入（千円）	備 考
常設展・企画展	114,269	53,601	(入館者内訳) 一 般 : 92,830 人 小中高生 : 10,003 人 乳幼児 : 1,299 人 減免・招待者 : 10,137 人

ウ 企画展示

企 画 展 名	期 間	日数	入館者数（人）
特別展 「龍馬の師一勝海舟生誕二百年」展 ※重文の展示	R5.4.1（土）～R5.4.16（日）	16	4,420

企画展名	期間	日数	入館者数 (人)
特別展 「花と歴史の爛漫土佐」展 ※重文の展示			52,748
第一部 桂浜シン発見ー浦戸湾歴史探訪	R5. 4. 28 (金) ~R5. 7. 2 (日)	66	(23,445)
記念講演会 「浦戸湾の歴史をたどる」 講師：高知県立高知城歴史博物館 資料学芸課長 藤田雅子氏	R5. 6. 17 (土)		38
担当学芸員による展示解説	R5. 5. 20 (土)、6. 24 (土) の2回		25
第二部 月と龍馬の桂浜ー坂本龍馬像物語	R5. 7. 15 (土) ~R5. 10. 1 (日)	79	(29,303)
記念講演会 1 『坂本龍馬湿板写真』と幕末の写真技術 講師：アーツカウンシル東京 企画係長 三井圭司氏	R5. 9. 16 (土)		30
記念講演会 2 「特別講座『幕末の写真事情ー龍馬湿板写真を中心に』」 講師：アーツカウンシル東京 企画係長 三井圭司氏	R5. 9. 17 (日)		11
担当学芸員による展示解説	R5. 7. 22 (土)、8. 19 (土)、 9. 23 (土・祝) の3回		30
「龍馬の真髓」展	R5. 10. 13(金)~R6. 1. 8(月・祝)	88	27,792
記念講演会 「手紙に込められた龍馬の真意を探るー深読みする楽しさー」 講師：京都国立博物館 特任研究員 宮川禎一氏	R5. 11. 4 (土)		40
担当学芸員による展示解説	R5. 11. 4 (土)、12. 16 (土) の2回		20
「錦絵にみる幕末維新」展	R6. 1. 20(土)~R6. 3. 31(日)	72	19,263
記念講演会 「戊辰戦争と情報社会」 講師：東京学芸大学 名誉教授 大石学氏	R6. 3. 16 (土)		53
担当学芸員による展示解説	R6. 2. 10 (土)、3. 9 (土) の2回		30
展示替えによる企画展示室等閉室中における常設展示室のみの観覧期間		45	10,046
自然災害等のための臨時休館	無し		

エ 調査研究

事業名	内 容	実 施 日	参加人員 (人)
令和5年度収蔵資料	<ul style="list-style-type: none"> ・寄託 16件 (文物見聞録、弘松春海卒業証書 など) ・寄贈 1件 (河田小龍 虎図) ・複製 1件 (坂本龍馬書簡 慶応3年2月13日 寺田屋登勢宛) <p>※R5～6年度で制作。R5年度は色校正まで</p>	—	—
高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会	<ul style="list-style-type: none"> ・第15回目の現代龍馬学会の総会を開催し、龍馬を追究してその精神を現代に生かすための取り組みを行った。 ・研究発表会に加えて年4回開催の企画展・特別展の記念講演会を、同学会と共催で実施した。また、講演会のWEB配信と講演要旨公開の取り組みを行った。 <p><①総会・研究発表会> (特別展における記念講演会：共催・再掲) ・「浦戸湾の歴史をたどる」 講師：高知県立高知城歴史博物館 資料学芸課長 藤田雅子氏 (研究発表) 第1部 ・「海南政典の、ほぼ50年ウェーバーに先行した『官僚制』とその構築に向けた吉田東洋の思索過程」 発表：鹿児島県立短期大学名誉教授 網屋喜行氏 第2部 ・「いろは丸の急用」 発表：徳島大学名誉教授 渋谷雅之氏</p> <p><記念講演会（共催・再掲）> ②『坂本龍馬湿板写真』と幕末の写真技術」 講師：アーツカウンシル東京 企画係長 三井圭司氏 ③「特別講座『幕末の写真事情－龍馬湿板写真を中心に』」 講師：アーツカウンシル東京 企画係長 三井圭司氏 ④「手紙に込められた龍馬の真意を探る－深読みする楽しさ－」 講師：京都国立博物館 特任研究員 宮川禎一氏 ⑤「戊辰戦争と情報社会」 講師：東京学芸大学 名誉教授 大石学氏</p>	<p>①R5.6.17(土)</p> <p>②R5.9.16(土)</p> <p>③R5.9.17(日)</p> <p>④R5.11.4(土)</p> <p>⑤R6.3.16(土)</p>	<p>①延べ 127人</p> <p>②30人</p> <p>③11人</p> <p>④40人</p> <p>⑤53人</p>

オ 教育普及

事業名	内 容	実 施 日	参加人員(人)
<p>連続講演会（全5回） 《テーマ》 さまざまな立場から みる幕末の京都</p>	<p>・令和5年度で6回目を迎える連続講演会(全5回)を実施した。 ・今年度は、「幕末の京都」をテーマに5人の研究者の講演を通じて、県民をはじめ多くの方々に龍馬の活躍の主舞台のひとつ、幕末・京都の政情などについての理解を深めていただいた。</p> <p>①「幕末京都と土佐藩 －政治情報と政治空間への視角－」 講師：京都産業大学文化学部 准教授 笹部昌利氏</p> <p>②「幕末京都の治安維持（京都守護職、新撰組、見廻組）」 講師：霊山歴史館 学芸課長 木村武仁氏</p> <p>③「幕府高官『京都所司代』再考」 講師：当館 学芸員 上村香乃氏</p> <p>④「岩倉具視と幕末の公家社会」 講師：岩倉具視幽棲旧宅 主任学芸員 重岡伸泰氏</p> <p>⑤「土佐藩白川邸について」 講師：京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター 助教 笹川尚紀氏</p>	<p>①R5.7.8(土)</p> <p>②R5.8.19(土)</p> <p>③R5.10.28(土)</p> <p>④R5.12.9(土)</p> <p>⑤R6.2.24(土)</p>	<p>①39人</p> <p>②43人</p> <p>③39人</p> <p>④40人</p> <p>⑤33人</p>
<p>出前授業</p>	<p><当館の学芸員による出前授業> ・各小学校の児童クラブなどに出向き、紙芝居などで幕末・坂本龍馬・当館の説明を行った。 ・園児や小学生、教師・保護者など幅広い年代を対象に、わかりやすい説明で、周知と理解を深めた。 ・来館日前に、WEBを活用した事前の遠隔学習を試行的に実施した。 ・県外の学校でも、引き続き出前授業を実施した。</p> <p>①出前教室（県内）：8校（13回）</p> <p>②出前教室（県外）：2校（2回） （東京都品川区）</p> <p>③遠隔学習（県内）：1校（1回）</p> <p><当館の元学芸専門員による出前授業> ・元職員ご夫妻が龍馬とお龍に扮するなどの工夫を加えた出前授業を実施した。</p> <p>④出前教室（県内）：1校（1回）</p>	<p>通 年</p>	<p>①331人</p> <p>②120人</p> <p>③20人</p> <p>④88人</p>

事業名	内容	実施日	参加人員 (人)
夏休み・りょうま工作教室	<p>・当館や幕末の歴史に興味を持ってもらうため、子ども達の夏休みの自由研究や工作などを支援するとともに、「りょうま工作教室」を企画・実施した。</p> <p>夏休み「りょうま館の夏休み」「りょうま工作教室」 対象：小学生 講師：当館の学芸員など 内容：幕末瓦版づくり、紋切づくり、パズルづくり、缶バッチづくり 回数：8回</p>	<p>R5. 8.</p> <p>13 (日) (1 回) 14 (月) (1 回) 19 (土) (1 回) 20 (日) (1 回) 26 (土) (2 回) 27 (日) (2 回)</p>	<p>5 人 11 人 5 人 22 人 8 人 18 人</p>
学習遠足支援事業	<p>県内の小学生・中学生・高校生が坂本龍馬や幕末史を学ぶため、バスを借り上げて来館した学校に対して、その借り上げ費用の一部を助成した。</p>	<p>通年</p>	<p>11 校</p>
校外学習支援事業	<p>坂本龍馬や幕末史を学ぶための修学旅行などの場として、主に中四国などから小・中・高等学校が来館した。 来館する児童・生徒には希望に応じて事前に学芸員が坂本龍馬について解説をした DVD の貸し出しを行うほか、来館時には龍馬の生涯や業績をまとめたパンフレットを全員に配布した上で観覧を行っている。</p>	<p>通年</p>	<p>46 校 1,915 人 < 県内 > 26 校 1,047 人 < 県外 > 20 校 868 人</p>
館広報誌「飛騰」の発行	<p>年 4 回発行した。 (館のトピックスやイベント、学芸員の研究要旨・コラム、企画展の紹介 など)</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
講演会等への講師派遣	<p>坂本龍馬や土佐の幕末史などについての理解を深めていただくために、学芸員を様々な講演会等の講師として派遣し、坂本龍馬の歴史的役割や、幕末史の意義深さに対するの関心や、さらなる理解を促進した。</p> <p>①高知県立大学 地域学実習 ・「観光と博物館」 ・「坂本龍馬の本質と魅力」 ②第 13 回土佐観光ガイドボランティア養成講座 ・「坂本龍馬の生涯」 ③高知中央ロータリークラブ卓話 ・「坂本龍馬の本質と魅力」 ④龍馬の生まれた町記念館 講演会 ・「坂本龍馬像物語」 ⑤(一社)高知サマサマ CCRC センター講演会 ・「坂本龍馬銅像について」 ⑥土佐史談会講座 ・「龍馬最後の帰郷」 ⑦高知大学非常勤講師 ・博物館経営論</p>	<p>①R5. 9. 29 (金) ②R5. 10. 25 (水) ③R5. 10. 26 (木) ④R5. 11. 15 (水) ⑤R5. 12. 10 (日) ⑥R6. 1. 25 (木) ⑦R6. 2. 14 (水)</p>	<p>7 件</p>

カ その他の普及事業

事業名	内 容	実 施 日	参加人員 (人)
館収蔵資料の 入れ替え展示	<p>館が所蔵する龍馬真筆書簡などの資料を入れ替えて更新し、より魅力ある展示を行った。</p> <p><展示替えを行った日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/27 (木) 5点 (常設展示室2点、企画展示室3点) 坂本龍馬書簡 姉・乙女宛 慶応元年夏 (推定) (真物) など ・6/21 (水) 2点 (常設展示室) 坂本龍馬書簡 姉・乙女宛 慶応元年秋 (推定) (真物) など ・8/15 (火) 1点 (常設展示室) 坂本龍馬書簡 後藤象二郎宛 慶応3年10月13日 (複製) ・10/13 (金) 1点 (常設展示室) 寺田屋事件・伏見奉行所報告書写し (真物) ・12/21 (木) 2点 (常設展示室) 坂本龍馬書簡 姉・乙女宛 慶応元年秋 (推定) (真物) など ・2/10 (土) 3点 (常設展示室) 坂本龍馬書簡 高松太郎宛 慶応2年3月8日 (真物) など ・2/26 (月) 1点 (常設展示室) 錦絵・桜田門外の変 	—	7回
第50回龍馬まつり in 桂浜の協賛	<p>公益財団法人高知市観光協会が実施する「第50回龍馬まつり in 桂浜」に協賛し、桂浜公園の各事業者等と連携した誘客に努め、桂浜全体の賑わいづくりの一端を担った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「龍馬の真髓」展の学芸員による展示解説 ・なりきり龍馬撮影会 ・紙芝居「海援隊物語」 など 	R5.11.12(日)	569人 (当日 入館者数)
開館記念週間	<p>坂本龍馬記念館の開館32周年として、11月15日(水)から26日(日)の間「開館記念週間」として、記念イベントを実施し誘客を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館記念日 無料開館 (11/15) ・企画展「龍馬の真髓」展の学芸員による展示解説 (11/18, 19, 23, 25, 26) ・なりきり龍馬 龍馬の衣装を来てみよう! (11/15~26) ・紙芝居上映 (11/15~26) ・オリジナル缶バッジを作ろう! (11/15~26) ・長宗我部フェス in 浦戸(11/19) <ul style="list-style-type: none"> 〔 鉄砲隊演舞 (土佐長宗我部鉄砲隊、豊後大友宗麟鉄砲隊) 山城ガイドツアー 甲冑体験 	R5.11.15(水) ~26(日)	5,525人 (期間 入館者数)

事業名	内 容	実 施 日	参加人員 (人)
ウォーキング・史跡 巡り	<p>県内の史跡を巡り、幕末を中心とする歴史に関心を深めてもらうためのウォーキングツアーを実施した。</p> <p>今年度はバスと組み合わせて、須崎市の幕末の砲台跡、龍馬が入港した須崎港や武市半平太像を学芸員などが解説しながら巡り、地域の史跡や見所の魅力を再発見した。</p>	R5. 12. 3(日)	14人
その他、誘客促進のためのイベント等の企画・実施	<p>当館を広報・PR し、新たな客層を含めて当館への誘客を促進するための取り組みを企画・実施した。その際には、桂浜公園内の事業者とも連携しながら公園全体への誘客に取り組んだ。</p> <p>①Ryoma 爛漫（花と歴史の爛漫土佐関連企画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂本龍馬像ヒストリー紹介 ・龍馬像 60 周年記念のメッセージ（司馬遼太郎氏）屏風の展示 など <p>②りょうま館の夏休み～夏のファン感謝デー～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み自由研究「幕末瓦版」づくり体験や工作教室 ・なりきり龍馬写真撮影会 など <p>③龍馬湿板写真の特別展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍馬湿板写真真物（歴史民俗資料館蔵）展示 ・土佐の先人（濱口雄幸・田中光頭）の肉声を聞く など <p>④ハッピーハロウィン in りょうま館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィン装飾 ・怪談錦絵の展示 など <p>⑤クリスマスイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスツリーを飾ろう ・りょうまサンタお面やクリスマスカードを作ってみよう など <p>⑥龍馬館のお正月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展示（お正月らしい掛け軸、龍馬の年始の挨拶の手紙など） ・お正月クイズラリー など <p>⑦文化人材育成プログラム—龍馬真筆書簡特別展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍馬真筆書簡（高松太郎、乙女宛）2 通の特別展示 <p>⑧高知龍馬マラソン応援企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マラソンランナーや関係者を優待 <p>⑨「錦絵に見る幕末維新—絵師と庶民の徳川幕府」展関連イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズラリー ・版画体験ワークショップ など <p>⑩ミュージアム探検隊 ハマスイトりょうま館の不思議発見ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂浜水族館と当館の学芸員によるガイドツアー <p>⑪高知県観光コンベンション協会主催の観光説明会への参画（東京・大阪など）</p>	<p>①5/27（土）～7/2（日） （毎週土日）</p> <p>②8月 9（水）～16（水） 19（土）～20（日） 26（土）～27（日）</p> <p>③9/16（土）～18（月・祝）</p> <p>④10/28（土）～29（日）</p> <p>⑤12/23（土）～24（日）</p> <p>⑥1/1（月・祝）～8（月・祝）</p> <p>⑦2/10（土）～25（日）</p> <p>⑧2/17（土）～3/31（日）</p> <p>⑨2/23（金・祝）～3/31（日） （4/7 まで）</p> <p>⑩3/9（土）～10（日）</p> <p>7 回／年</p>	<p>①4,961 人 （期間入館者数）</p> <p>②7,416 人 （期間入館者数）</p> <p>③2,139 人 （期間入館者数）</p> <p>④916 人 （期間入館者数）</p> <p>⑤343 人 （期間入館者数）</p> <p>⑥2,848 人 （期間入館者数）</p> <p>⑦5,540 人 （期間入館者数）</p> <p>⑧14,003 人 （期間入館者数）</p> <p>⑨12,124 人 （期間入館者数）</p> <p>⑩24 人 （参加者）</p>

(5) 文学館

令和5年度は指定管理者第4期の最終年であり、運営の基本方針に基づき、展示や教育普及活動等を通して、ゆかりの作家の顕彰や土佐文学の魅力を伝えるとともに、県民の文学への関心を高める取り組みを一層推進させるために力を尽くした。

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行した年でもあり、県民の皆様がこれまでの日常生活を取り戻したことを実感できるような様々な工夫を凝らしながら、幅広い年代の方々に楽しんでいただけるバラエティに富んだ4本の企画展を開催した。

企画展にあわせた関連企画としては、文豪ストレイドッグスの原作者である朝霧カフカ氏や元NHKアナウンサーの松平定知氏を招いての記念講演会、コケリウムなどの工作教室や企画展にちなんだ朗読会など、多彩な取り組みを行った。

常設展示では、いつ来館しても新しい文学との出会いを感じ、顕彰作家を深く理解してもらえるよう、収蔵資料を中心にローテーション方式で入れ替えを行っており、令和5年度は田中英光、田宮虎彦、岡本真帆の3人の作家を取り上げて詳しく紹介した。

常設展企画コーナーでは、NHKの朝ドラ「らんまん」の放送を受けて「牧野富太郎と佐川の文学展」と題し、大原富枝の「草を褥に」や朝井まかての「ボタニカ」などの小説を通して、小説に描かれた富太郎やその周辺の人々の魅力を紹介した。

寺田寅彦記念室ミニコーナーでは、牧野富太郎と同時代に生きた寺田寅彦とゆかりの人々の植物にまつわる展示を行った。

「宮尾文学の世界」では、「宮尾登美子の軌跡～宮尾文学の女性たち～」と題し、宮尾登美子が生み出したヒロイン『葦』の烈、『天涯の花』の珠子を中心に宮尾文学の女性像をひも解きながら、その世界観を紹介した。

教育普及事業では、夏休み期間中に児童クラブ等へ出向いての出張おはなしキャラバンや紙芝居ボランティア公演の実施など、年間を通して活動を行った。また、文学マイスター講座の開催、市民講座など外部からの講師派遣要請にも対応した。さらに、児童生徒文学作品朗読コンクール、朗読の会、出張朗読など、朗読を通して文学を身近に感じていただく取り組みも行った。

広報活動については、館報「藤並の森」や年間イベントガイドを発行するとともに、ホームページの内容の充実・利便性の向上、ブログなどの内容を充実し、随時更新を行うことで、最新の情報をタイムリーに提供できるように努めた。

収蔵庫の燻蒸作業を行うとともに、IPM（Integrated Pest Management／総合的有害生物管理）の一環として、開館前に職員全員が交代で展示室の点検・見回りを行うなど、資料の保存・保護作業を通して良好な観覧環境の確保に努めた。

ア 文学館利用状況

種別	入館者(人)	料金(円)	備考
主催	常設展	1,571	(入館者内訳) ・一般 : 12,182人 ・小中高生 : 4,404人 ・長寿者等 : 6,178人
	企画展	21,193	
	計	22,764	
ホール	3,465	419,050	※ 利用件数 : 171件 (126件)
茶室	1,833	379,410	※ 利用件数 : 134件 (0件)
合計	28,062	6,232,960	

* 件数は貸出区分(午前・午後・全日)でカウント、()内は、免除等使用料無料の件数

* 上記件数にはいずれも当館主催利用を含む

イ 展覧会

(ア) 企画展

企画展名	開催期間	開催日数 (実数)	観覧者数
巡回展 誕生 50 周年記念 ベルサイユのぼら展 ーベルばらは永遠にー	R5. 4. 8(土)～R5. 6. 18(日)	72日間	7,380人
自主企画展 アリスの世界展 ー不思議な冒険の招待状ー	R5. 7. 8(土)～R5. 9. 18 (月・祝)	73日間	5,663人
自主企画展 めざめる探偵たち ～文豪ストレイドッグス× 高知県立文学館～	R5.10. 7(土)～R6. 1. 8 (月・祝)	88日間	6,369人
自主企画展 時代小説と歴史小説展 ー江戸時代を生きる、今を生きる	R6. 1. 20(土)～R6. 3. 24(日)	65日間	1,781人
計		298日間	21,193人

※臨時休館 6/26～28 (収蔵庫燻蒸、特別清掃) 12/27～1/1 (年末年始休館)

(イ) 常設展

区 分	テーマ 内 容	会 期
常設展示室	収蔵資料を中心にローテーション方式で入れ替えを行い、60 数名の顕彰作家等を紹介している。 令和5年度は、その中から新しく、田中英光、田宮虎彦、岡 本真帆を紹介し、高知の文学者と作品の魅力をわかりやすく伝 えた。	R5. 4. 1 (土) ↓ R6. 3. 31 (日)
常設展示室 (企画コーナー)	「牧野富太郎と佐川の文学展」と題し、大原富枝の「草を褥に」 や朝井まかての「ボタニカ」などの小説を通して、小説に描かれ た富太郎やその周辺の人々の魅力を紹介した。	R5. 4. 1 (土) ↓ R6. 3. 31 (日)
寺田寅彦 ミニ企画コーナー	NHK朝の連続テレビ小説で「らんまん」が放送されることを 受けて、牧野富太郎と同時代に生きた寺田寅彦と、そのゆかり の人々の植物にまつわる展示を行った。	R5. 4. 1 (土) ↓ R6. 3. 31 (日)
宮尾文学の世界	「宮尾登美子の軌跡 ～宮尾文学の女性たち～」をテーマに宮尾 登美子が生み出したヒロイン『蔵』の烈、『天涯の花』の珠子を 中心に宮尾文学の女性像をひも解き、紹介した。	R5. 4. 1 (土) ↓ R6. 3. 31 (日)

ウ 教育普及事業

事業名	会 期	回数	参加者(人)
文学マイスター講座	R5. 5. 27(土) ~ R6. 2. 24(土)	7	260
児童生徒文学作品朗読コンクール	地区審査 3回 R5. 8. 16(水)、 18(金)、20(日) ~ 21(月) 県審査 1回 R5. 11. 5(日)	4	217
朗読の会	R5. 4. 1(土) ~ R6. 3. 31(日)	11	511
記念講演会(企画展開関連等)	R5. 4. 1(土) ~ R6. 3. 31(日)	5	436
ギャラリートーク (企画展開催中土曜日)	R5. 4. 1(土) ~ R6. 3. 31(日)	45	1,468
語りと紙芝居の会	R5. 4. 1(土) ~ R6. 3. 31(日)	11	187
おはなしキャラバン(館内、館外)	R5. 4. 1(土) ~ R6. 3. 31(日)	40	1,746
近世土佐文学研究会	R5. 4. 1(土) ~ R6. 3. 31(日)	42	189
職員による講演 (依頼を受けての講師派遣)	R5. 4. 1(土) ~ R6. 3. 31(日)	21	924
その他企画展開関連イベント *クイズ、工作イベント等	R5. 4. 1(土) ~ R6. 3. 31(日)	48	3,843
参加者合計			9,781

エ こども対象事業(☆再掲)

事業名	実施時期	回数	参加者(人)	備考
児童生徒文学作品 朗読コンクール	R5. 8. 16(水) 東部 8. 18(金) 西部 8. 20(日) 中部 8. 21(月) 中部 11. 5(日) 県	地区審査 3 県審査 1	217	
おはなしキャラバン (館内、館外)	R5. 4. 1(土) ~ R6. 3. 31(日)	40	1,746	

オ カルチャーサポーターの活動概要

活動内容	登録数※	活動回数	参加延人数
イベント補助	8名	7回	14名
紙芝居普及・読み聞かせ	27名	40回	71名
資料整理	7名	9回	9名
草の根広報	23名	4回	92名
朗読活動	31名	7回	33名
文学散歩	2名	1回	2名
合計	98名	68回	221名

*令和5年度末カルチャーサポーター認定者は65名

(6) 埋蔵文化財センター

受託事業として開発等に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行うとともに、指定管理業務として高知県立埋蔵文化財センターの施設管理及び出土文化財保管管理活用事業並びに埋蔵文化財保護推進のための広報普及事業を実施した。

ア 発掘調査受託事業

令和5年度は、国土交通省（高知県から再委託）及び農林水産省（南国市から再委託）、高知県及び（公財）土佐山内記念財団から委託を受けて、発掘調査及び整理業務を行った。

国土交通省関連では、安芸道路建設工事に伴い、安芸市東浜地区の発掘調査及び金政遺跡他の整理業務を実施した。

農林水産省関連では、国営ほ場の整備に伴い、令和3～4年度に実施した南国市能間地区の成願遺跡において、報告書公刊に向けた整理業務を行った。

県関係では、都市計画道路高知南国線建設工事に伴う若宮ノ東遺跡の発掘調査及び整理業務、忠兵衛遺跡の整理業務を実施した。

また、史跡高知城跡においては、昨年度に引き続き高知城本丸下（鐘楼堂）の石垣カルテ作成業務を実施した。

（公財）土佐山内記念財団関係では、土佐藩主山内家墓所八代墓地の石垣崩落個所の整備に伴い、令和6年度工事施工予定箇所についての石垣カルテ作成業務を行った。

令和5年度の受託契約事業費は、約1億4千9百万円であった。

令和5年度 埋蔵文化財センター発掘調査事業一覧

事業主体	調査名	受託金額（円）	遺跡名等	調査場所	内容	面積（㎡）
国土交通省	安芸道路	67,925,000 (発掘 54,164,000) (整理 13,761,000)	東浜地区 (東浜土居遺跡)	安芸市東浜	発掘 整理	1,080 5,067
農林水産省	南国市 国営ほ場整備	24,684,000	能間地区 (成願遺跡)	南国市大桶	整理	1,639
高知県	都市計画道路 高知南国線①	21,659,000	若宮ノ東遺跡 忠兵衛遺跡	南国市篠原	整理	5,612
	都市計画道路 高知南国線②	23,892,000 (発掘 12,551,000) (整理 11,341,000)	若宮ノ東遺跡	南国市篠原	発掘 整理	141
	高知城石垣カルテ	8,162,000	高知城本丸石垣	高知市丸ノ内	カルテ 作成	370
(公財)土佐山内記念財団	土佐藩主山内家墓所石垣等写真量・カルテ作成	2,563,000	土佐藩主山内家墓所八代墓地	高知市筆山	カルテ 作成	25
合 計		148,885,000				13,934

イ 埋蔵文化財センター指定管理事業

(ア) 埋蔵文化財センターの利用状況

利用内容	人数	備考
入館者数	3,562人	大人 2,543人 小人 1,019人
館外利用者数	3,241人	親子考古学教室 368人 出前考古学教室 2,392人 企画展講演会 86人 地域展「四万十町の遺跡展」 227人 地域展 講演会 46人 地域展 ワークショップ 33人 地域展 ギャラリートーク 24人 フィールドワーク 65人
利用者総数	6,803人	

(イ) 展示会及び公開講座等

a 埋蔵文化財センター内展示会

展示会	会期	入館者数(人)	備考
企画展Ⅰ	R5.4.23(日)～R5.7.2(日)	540	高知の遺跡展－中筋川流域の遺跡展－
巡回展	R5.7.23(日)～R5.9.10(日)	1,256	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「四国を掘る－城と城下町－」
企画展Ⅱ	R5.10.8(日)～R6.3.31(日)	1,618	発掘！古代の土佐
	その他の期間の入館者	128	
計		3,542	

b 埋蔵文化財センター外展示会

展示会	会期	入館者数(人)	備考
地域展	R6.1.14(日)～R6.1.31(水)	227	四万十町の遺跡展(四万十町農村環境改善センター)

c 展示報告会・ギャラリートーク

内容	実施日	参加人員(人)	備考
第1・2回ギャラリートーク	R5.4.23(日)	22	企画展Ⅰ
第1回展示報告会	R5.6.25(日)	25	〃
第3・4回ギャラリートーク	R5.7.23(日)	16	巡回展
第2回展示報告会	R5.9.3(日)	26	〃
第5・6回ギャラリートーク	R5.10.8(日)	11	企画展Ⅱ
第3回展示報告会	R6.1.8(月・祝)	22	〃
第7回ギャラリートーク	R6.1.14(日)	24	地域展
第8・9回ギャラリートーク	R6.3.3(日)	10	企画展Ⅱ
計		156	

d 展示関連企画

内容	実施日	参加人員(人)	講師	会場
企画展Ⅱ 講演会 「飛鳥・奈良時代の社会と土佐国 若宮遺跡とその時代－評制の成立と構造を考える－」	R5. 12. 10(日)	86	東洋大学文学部史学科 教授 森 公章	南国市地域交流センターみあーれ!
地域展 講演会 「遺跡からみる四万十町の遺跡：四万十川中上流域の縄文・弥生遺跡群」	R6. 1. 21(日)	46	高知大学人文社会科学部 准教授 宮里 修	四万十町農村環境改善センター
地域展 ワークショップ (勾玉づくり)	R6. 1. 21(日)	33	—	四万十町農村環境改善センター
計		165		

(ウ) 公開講座

a 考古学のいろは

講座内容	実施日	参加人員 (人)	備考
高知の旧石器時代	R5. 5. 14(日)	25	埋蔵文化財センター

b 高知の発掘最前線

講座内容	実施日	参加人員 (人)	備考
東浜土居遺跡	R5. 10. 9(月・祝)	26	埋蔵文化財センター
成願城跡	R5. 12. 24(日)	18	〃
山内家大名墓所	R6. 2. 12(月・休)	25	〃
計		69	

c 考古学研究の世界

内容	実施日	参加人員 (人)	備考
土佐の中世墓	R5. 11. 3(金・祝)	18	埋蔵文化財センター
土器からせまる土佐の律令時代	R6. 2. 23(金・祝)	18	〃
計		36	

d 山城の知識

内容	実施日	参加人員 (人)	備考
城の縄張りから見た地域色	R5. 6. 4(日)	31	埋蔵文化財センター

e フィールドワーク

内容	実施日	参加人員 (人)	備考
史跡ツアー 「宗吉瓦窯跡史跡公園」 (香川県三豊市)	R5. 6. 18(日)	25	バスツアー 現地ガイド：三豊市教育委員会生涯学習課職員
土佐の山城歩き 「波川玄蕃城跡」(いの町)	R5. 10. 29(日)	24	現地集合
高知の遺跡訪問 「西分増井遺跡」(高知市春野)	R5. 11. 12(日)	16	現地集合
計		65	

f 古代ものづくり体験教室(ガラス勾玉づくり・勾玉づくり・銅鏡づくり・土器づくり等)

回数	実施日	参加人員 (人)	備考
第1・2回	R5. 5.21(日)	24	午前・午後2回開催
第3・4回	R5. 6.11(日)	12	〃
第5・6回	R5. 7. 2(日)	23	〃
第7・8回	R5. 9.10(日)	42	〃
第9・10回	R5.10.22(日)	28	〃
第11・12回	R5.12.17(日)	38	〃
第13回	R6. 1.28(日)	27	午前1回開催
第14・15回	R6. 2. 4(日)	18	午前・午後2回開催
第16・17回	R6. 2. 23(金・祝)	27	〃
第18・19回	R6. 3.10(日)	26	〃
計		265	

g 親子考古学教室 (火起こし・勾玉づくり等)

回数	実施日	参加人員 (人)	回数	実施日	参加人員 (人)
第1・2回	R5.7.22(土)	60	第17・18回	R5.8.11(金・祝)	68
第3・4回	R5.7.23(日)	63	第19・20回	R5.8.13(日)	70
第5・6回	R5.7.25(火)	73	第21・22回	R5.8.16(水)	64
第7・8回	R5.7.27(木)	66	第23・24回	R5.8.18(金)	71
第9・10回	R5.7.30(日)	60	第25・26回	R5.8.20(日)	57
第11・12回	R5.8. 2(水)	60	第27・28回	R5.8.22(火)	64
第13・14回	R5.8. 6(日)	107	第29・30回	R5.8.24(木)	63
第15・16回	R5.8. 9(水)	70	第31・32回	R5.8.27(日)	63
計					1,079

h まいぶんセンターまつり

内容	実施日	参加人員 (人)	備考
ものづくり体験教室、火起こし体験、バックヤードツアーと展示解説等	R5.11.23(木・祝)	407	発掘体験、縄文スタンプなど新しい企画を追加

(エ) 学校・団体対象事業

a 出前考古学教室

実施期間	実施回数	内 訳			参加人員 (人)
		学校授業	学校関係行事	その他団体	
前期 R5.5.8(月)～R5.7.13(木)	48	47回 (47校)	1回 (1校)	0回	1,620
後期 R5.9.3(日)～R6.2.27(火)	19	10回 (10校)	9回 (8校)	0回	772
計	67	57回 (57校)	10回 (9校)	0回	2,392

b 団体見学

団体名	見学日	参加人員 (人)	内 訳		内 容
			大人	小人	
土佐自由学校4～6年生	R5. 5. 10 (水)	14	3	11	見学・体験
土佐清水市郷土史料同好会	R5. 7. 18 (火)	13	13	0	見学・講和
すきっぷ香美	R5. 7. 26 (水)	10	4	6	体験
アビリティキッズ	R5. 8. 7 (月)	16	6	10	〃
すきっぷ山田	R5. 8. 8 (火)	14	5	9	〃
まほろばクラブ南国	R5. 8. 10 (木)	11	2	9	見学・体験
ジャンプ南国	R5. 8. 23 (水)	13	5	8	体験
高知考古学研究会	R5. 9. 10 (日)	27	27	0	施設利用
高知大学	R5. 9. 19 (火)	10	10	0	〃
放送大学 高知学習センター	R5. 10. 15 (日)	21	21	0	見学
大豊町社会福祉協議会(天坪長寿会)	R5. 11. 2 (木)	10	10	0	〃
伊野南小学校5年生	R5. 11. 24 (金)	28	24	4	体験
野市東小学校 特別支援学級	R5. 12. 4 (月)	19	6	13	〃
佐古小学校6年生	R6. 3. 5 (火)	52	4	48	見学・体験
高知考古学研究会	R6. 3. 30 (土)	26	26	0	施設利用
計		284	166	118	

(オ) 職場体験受入

体験内容	受入校名	受入人員(人)	実施期間
整理作業体験、遺跡調査	北陵中学校	2	R5. 4. 25 (火)～4. 26 (水)
イベント準備作業	大津中学校	2	R5. 9. 27 (水)
計		4	

(カ) 講師派遣

派遣内容	実施日	講師	場所
高知市「いきいきセカンドライブ講座」「新堀川護岸～発掘調査成果からみた新堀の歴史」についての講演講師	R5. 6. 2 (金)	吉成 承三	高知市文化プラザかるぼーと 高知市立中央公民館
令和5年度高知県東部地区社会教育委員連絡協議会研修会講師「考古学からみた高知県東部地域の弥生社会」	R5. 9. 5 (火)	久家 隆芳	香美市立図書館かみーる
「第13回土佐観光ガイドボランティア養成講座」講師「高知城の概要」	R5. 10. 11 (水)	吉成 承三	高知県立高知城歴史博物館
科研費研究「古代交通路について」の助言、および東浜土居遺跡の現場説明	R5. 10. 15 (日) ～ 10. 16 (月)	池澤 俊幸	高知県立埋蔵文化財センター(東浜土居遺跡)
高知県立高知城歴史博物館企画展関連行事「高知城石垣散策会」講師	R5. 11. 18 (土)	吉成 承三	高知城内(高知市)
京間遺跡(土佐市)埋蔵文化財試掘確認調査に係る助言・指導	R5. 12. 8 (金) ～12. 15 (金)	吉成 承三	京間遺跡(土佐市)
岡豊城跡・長宗我部一族の寺跡発掘調査における調査支援・指導	R6. 1. 11 (木)	吉成 承三	南国市岡豊町岡豊山山麓 (長宗我部一族の寺跡)
姫野々城跡内の伐採樹木の選定・作業方法等に対する指導・助言	R6. 1. 17 (水)	吉成 承三	姫野々城跡 (津野町姫野々)
広島市文化財団文化財課職員による高知県立埋蔵文化財センター施設の利活用の状況および遺物整理作業等の視察対応	R6. 3. 11 (月)	吉成 承三	高知県立埋蔵文化財センター